

適期の中干しで無効分けつの抑制と根の伸長促進!!

移 植

浅水管理や軽い田干しが徹底されていたほ場では茎数が平年より多くなっていますが、深水で藻が発生していたほ場では茎数が平年よりやや少なくなっており、ほ場による生育のばらつきが大きくなっています。

まだ、溝切り、中干しを行っていないほ場は、ただちに実施しましょう。中干し後は、間断かん水を行いましょ。

〈なんと担い手組織協議会事務局調査 6月5日〉

調査日	品種	田植日		草丈(cm)		茎数(本)				葉齢(葉)	
		本年	平年	本年	平年	株当り		㎡当り		本年	平年
						本年	平年	本年	平年		
5 / 29	五百万石	5/4	5/6	25.6	24.4	7.2	8.2	181	188	6.5	6.5
	雄山錦	5/3	5/6	32.2	35.8	8.3	5.9	192	133	7.3	6.2
6 / 5	コシヒカリ	5/11	5/10	29.4	28.6	8.1	9.7	164	207	6.2	6.5
	てんこもり	5/13	5/7	25.3	20.2	9.6	11.6	198	236	6.2	7.1
	山田錦	5/7	5/13	34.4	28.3	13.6	7.9	241	151	6.4	6.2

1 溝切りと中干し

- ◇中干し開始前（田植え25日後頃）までに溝を5m（15～16条間）に1本以上を目安に設置し、必ず溝を水吐尻に連結して下さい。
- ◇全品種でただちに中干しを開始しましょう。また、茎数が少ないほ場は徐々に干しましよう。
- ◇中干しは、粘質土壌では4～5日間、黒ボク土壌では2～3日間の田干しを2～3回繰り返し、田面に小さな割れ目ができる程度としましょう。

2 間断かん水と飽水管理 ～入水と自然落水の繰り返し～

- ◇中干しが完了（足が10cm程度沈む）したら、間断かん水を行い、足が3cm程度沈む固さまで田面を固めましょう。
- ◇幼穂形成期以降は、飽水管理で水を切らさないようにし、稲体の活力を維持ましょ。

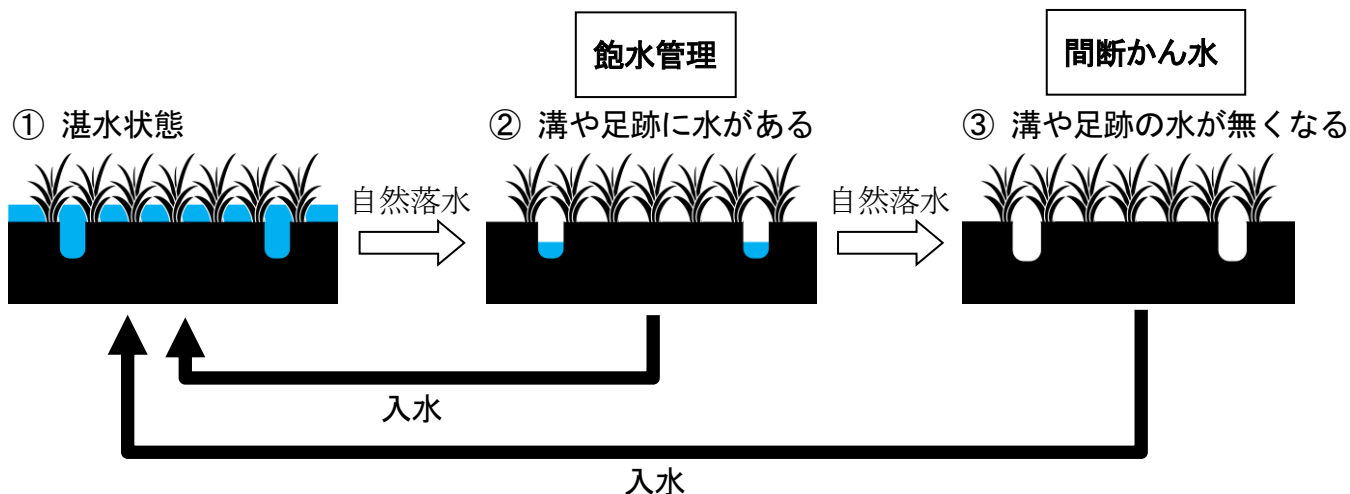


図 間断かん水と飽水管理のイメージ

3 雑草防除 【営農のてびき】 p. 32～39参照

- ◇雑草が残っている場合は、雑草の種類と大きさに応じた除草剤を使用しましょう。
- ◇特裁米は使用できる除草剤は指定されているため、注意しましょう。

直 播

播種後の好天と適切な水管理により、苗立の揃いが良く、生育はおおむね順調です。
遅くとも播種から30日経過したら、溝切り、中干しを実施しましょう。

〈なんと担い手組織協議会事務局調査 6月5日〉 コシヒカリ

様式	播種日		苗立本数 (本/m ²)		草丈 (cm)		茎数(本)				葉齢(葉)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	m当り		m ² 当り		本年	平年
							本年	平年	本年	平年		
鉄コ	5/1	5/1	72.7	68.2	22.5	19.9	68	60	227	182	6.0	5.3
カルパー	5/2	5/1	84.7	69.5	29.8	24.7	104	77	347	255	6.7	5.7

※目標苗立本数 60～80本/m²

1 溝切りと中干し 表面の「1 溝切りと中干し」参照

- ◇ただちに溝切りを行い、そのまま中干しを実施しましょう。



写真 コシヒカリ (鉄コ) 中干し開始時期

〈中干し開始時期の茎数目安〉

品種	開始時期
コシヒカリ	84～88 本/m
てんこもり	102 本/m
山田錦	82 本/m

2 間断かん水と飽水管理 表面の「2 間断かん水と飽水管理」参照

3 病虫害防除

(1) いもち病

オリゼメート1キロ粒剤を6月20日頃に散布 (1kg/10a) し、散布後5日間程度は湛水状態を保ちましょう。ただし、ルーチンシードFSを種子塗抹した場合は必要ありません。

(2) イネミズゾウムシ、イネゾウムシ

【営農のてびき】 p. 44参照

今年はやや多く発生しています。ヨーバルシードFSの種子塗抹を行っていないなど、被害が激しい場合はご相談下さい。



写真 イネゾウムシの被害葉

カメムシの発生を抑えるため、畦畔等はこまめに草刈りをしましょう。また、大麦跡ほ場も適正に管理しましょう。 除草剤の使用に当たっては、ラベルの注意を良く読み定められた使用法を遵守しましょう。